



今年も綺麗に咲きました

一〇〇号とい
う時の流れに
驚きと感慨深
いものを感じ
る。改めて振
り返ると平成
の時代から令
和へと移り変
る中、当時
のことを思い
出しながら記
憶をたどって

平成四年に長男（現副住職）が誕生した年に創刊した寺報発菩提心。ネーミングは先代が決めていただいた。それから毎年三回発行することになり気が付けば

創刊一〇〇号を記念して…
今一度振り返ってみる

発菩提心



いくと今日の宗教心も変わっていく様
うかがえる。

安養寺は京都総本山仁和寺（筆頭門跡寺院）の末寺として本尊十一面観世音菩薩（国重要文化財）を中心として広く美作の地に知れ渡り、毎年二月にははだかまつり（修正会）という会陽が厳修される。これは全国でも最古といわれている行事であり八百年以上の歴史をもつお祭りである。美作市無形文化財にも指定されている。会陽が終わると美作地方にも春が訪れ木の芽が膨らみやがてソメイヨシノが満開となり境内も桜の香りが充滿する。その昔、津山藩主森忠政公血縁千姫が病弱ゆえにこの寺から湯郷温泉に湯治されていったという話があり残念ながら若くしてこの世を去った。元禄六年八月六日寅 享年二十七 瑞雲院殿享品全祥大姉。今も当寺において手厚く位牌が祀られている。即刻遺髪を埋め白木蓮を供養のた

第100号

〒707-0041 岡山県美作市林野48
発行所：間山 安養寺
TEL：(0868) 72-0229
FAX：(0868) 72-0228
E-Mail：an-yo-ji@gol.com
令和7年 春号

めに植え菩提を
吊った。毎年見
事な花を咲かせ
ていたが時代の
風化とともに枯
れ今はない。し
かし仁王門横の
木蓮はその子供
としていまでも
見事に花を咲か
せている。
旧暦の三月
二十一日には弘
法大師の御入定

にあわせて正御影供という法要が営まれる。大師のご遺徳を偲び改めて真言宗の教えを学び、命を授けて頂いた先祖に感謝する日である。今年四月十八日（金）に厳修される。
七月に入ると盆行事の準備が始まり蟬の鳴き声とともにせわしくなる。結願の八月十七日には初盆供養と施餓鬼法要が厳修され各家の灯籠を持って吉野川に流しに行く灯籠流しが定番であるが最近ではアフターコロナや天候によってここ数年は境内にてお焚きあげをすることが多くなった。

おもしろ漢字 わかるかな？

「海海海海海」？

「あいうえお」と読みます。「海女・海人（あま）」「の」「あ」「海豚（いるか）」「の」「い」、以下順に「海胆・海栗（うい）」「海老（えび）」「海髪（おい）」というわけです。

「海」という漢字は、「カイ、うみ」というのが通常の読み方です。これから離れた先のよくな特殊な読み方を含むことは少なくありません。以下、「海」を含む語で特殊な読み方をする動植物名を挙げてみました。どのくらい読めますか。

- ①海馬 ②海牛 ③海象 ④海狗 ⑤海狸
- ⑥海鼠 ⑦海豹 ⑧海鰻 ⑨海鱸 ⑩海獺
- ⑪海鱈 ⑫海月 ⑬海星 ⑭海鞘 ⑮海松

他に、「海」には「海神（わたつみ）」「海嘯（つなみ）」「海鼠腸（このわた）」など多くの読み方があります。



四月～七月 お寺行事予定

- ◆春季奉仕作業 3月30日 (実施済)
- ◆通常総代会 4月14日
- ◆正御影供法要（別記） 4月18日
- ◆美作市仏花祭り 5月11日 佛法寺
- ◆於、美作市川北
- ◆仏教婦人会総会予定 5月20日
- ◆御詠歌巡回布教 6月中旬
- ◆夏季七福神大祭 7月7日
- ◆夏季奉仕作業 7月20日

雨天の場合翌週に順延

◆各地区お盆参り 七月下旬～

- 特に岡山方面 7月27日
 - 姫路方面 8月2日
 - 津山方面 8月3日
- の予定です。

春奉仕作業のお礼

春奉仕作業に出仕された檀家の方にはお忙しい中にもかかわらず作業をしていただきありがとうございます。ここに厚く御礼申し上げます。

編集後記

一年三百六十五日日々が大切な時間だと自覚する価値のある時間。無駄に過ごした日にも唯々時間を消化していったことが自分の歩みかたと思つていたのだがそれは全然考えもなかった。何れは滅するであろうこの地球。その中で生きてきた自分の証はどのように後世に伝えられていくべきか最近特に考えるようになった。私たちがやがて死を迎えるその後の世界は長い死後の世界に踏み入れる。この世は仮の世界だと認識し先祖から与えられた命によってこの世を体験させていたのだ。中々そこまで悟ることは難しいことかも知れないが悟ってしまった新しい発見も見出すことができる。一時の感情によって人間関係が崩れることもあるだろう。しかしそれよりも一時的な世の出来事だと悟ればいずれかは存在しない野原の中に佇んでいるだけである。この象全てのものに平等に幸せをお祈りし捧げられた。そのご遺徳に敬意と感謝を捧げることが大師信者の私たちに課せられた使命ではないか。もってお参りして、正御影供法要にはその思いを込めてお参りしていただきたいと思う。

住職 記

確かな技術

末代保障の墓石専門

お墓のことなら



フリーダイヤル

0120-136138

しょうみえく 正御影供法要
(お大師さま)のご案内

とき
令和7年4月18日(金)

恒例の正御影供法要は、
 今年は、四月十八日(金曜日)
 「旧暦三月二十一日」です。
 皆様お誘い合わせなるべく午前中にお参りください。
 今年もお砂踏みを用意しています。
 若葉の清々しい八十八所巡りと、一顧地蔵尊のお参りもどうぞ！

【写経のお勧め】
 昨年同様写経道場を開きます。
 心のリフレッシュに是非お勧めいたします。
 (写経奉納料) 一卷壹千円

(一)連絡
 ・担当地区の総代様はお手伝いよろしくお願ひします。
 ・御詠歌講の皆様は午前九時までに寺にお集まりください。
 ※感染予防対策(マスク等)のご協力をお願いします。

安養寺通信

・星まつり厳修
 去る、二月二日(本年度は一日早い節分)星まつりのご祈願祭を厳修し申し込みのあった方々にそれぞれ祈願札を授与させていただきました。

・会陽、観音祭無事成満
 去る、二月八日(土)恒例の会陽(はだかまつり)が厳修された。コロナにより一時中止していたが昨年より再開。今年も大勢の子ども達と大人が真木獲得に目の色を変えて争奪戦に臨んだ。陰陽とも岡山市のグループと有志が獲得され感慨深い思いで喜んでおられた。
 本真木はともに美作市の皆木製材所と株式会社ダイ精密におさめられた。

真木獲得がんばるぞ

寄贈お礼

榎原下の豊久金一様より安養寺仁王講の方々に法被のご寄贈をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

寄贈の法被を着て記念撮影



真木獲得がんばるぞ

翌週の観音祭には柴灯大護摩が焚かれ老若男女大勢の方々がそれぞれに思いを込めてお祈りし火渡りして満足の様子だった。

にっこり火渡りができました



にっこり火渡りができました

夕べに感謝!!

朝に拝礼

秋になると各地区で秋祭りを実施する地域もあるが当寺でも例外ではない。十月十日には鎮守金毘羅大権現様をお祀りし護摩を焚く。鎮守とはお寺の中にある仏様や神様皆様のご先祖様等全てのものを守って頂いている大変有難い権現様である。昔は体育の日にあわせて境内に土俵を作って金毘羅相撲が行われていたがこのことを知っている人も僅かしかない。大晦日になると除夜の鐘をつき、新春の護摩祈禱が始まり湯郷の百八の花火の打ち上げの音を聞きながら新しい年を迎える。

以上寺の流れを記してみたが、寺報の創刊号から現在までひとつひとつ読み返すと三十三年間いろいろな出来事があり私ひとりでは到底達成できていないであろう。文章を提供してくれた人、原稿依頼に快く承諾してくれた人、スポンサーになつて協賛金をしてくれた人達、いろいろな方々の支えがあつて今日があることと決して感謝の心を忘れてはいけないと感じる。

昭和から平成、令和へと時代が変わつて何かが違う寂しさ侘しさを思い耽ることがある。答えは出ないが今は令和の時代、昭和や平成の時代ではないということ

主な歩み

昭和六十三年四月
 ……本尊十一面観世音菩薩御開扉法要
 昭和六十三年五月
 ……安養寺入寺



寒さに負けず元気に出ました

とを認識し次世代に繋げるためには何をしなければいけないのかを試行錯誤しながら前を向いて努力することが私に与えられた使命だと思ふ。

昭和六十三年に入寺し先代に鍛えられた間もなく四十年。あと残り僅かな住職の期間を精一杯頑張ってみるつもりではある。
 南無大師遍照金剛



千姫緑の白木蓮

平成二年五月
 ……美作町仏教会花祭り法要 主催

平成四年四月
 ……発菩提心 創刊(第一号)

平成七年十月
 ……庫裏新築諸堂屋根瓦葺き替え落慶法要

平成十八年十月
 ……住職晋山記念法要

平成二十九年十一月
 ……第十八世慈道和尚遷化

令和五年四月
 ……本尊十一面観世音菩薩御開扉法要

令和六年五月
 ……美作市仏教会花祭り法要 主催

令和七年四月
 ……発菩提心 一〇〇号発刊